



幸手市議会議員
本田ようこ

〒340-0164
幸手市香日向3-10-16
TEL: 080-5137-4539

幸せの手

発行：本田ようこ後援会

令和5年12月議会における、本田ようこ一般質問報告です。

(1) 第4弾幸手市ハッピーエール券の配布日

Q 配布決定までの経緯は。

A ハッピーエール券の利用期間は、10月1日から12月31日までとなっており、工程機関としておおよそ3か月程度要します。

また、商工会の「歳末大売出し」と利用期間を併せることにより、商店街の活性化を図ることを考慮。利用開始日10月1日に間に合うよう、9月20日より順次郵送しました。

Q 議員への説明では「10月上旬頃」と説明し、商工会のホームページ7月1日付でも「10月上旬より無料で配布を予定している特別商品券」と表示。配布日が予定より早まったことの権限は誰か。

A (市長) 私の権限です。



本田は思う

市長選挙告示が9月24日、投票日が10月1日。その前にハッピーエール券が市民に届くことに、市長は何も気づかなかったのでしょうか。疑問です。選挙前に変な誤解をされないためには、選挙が終わってからの配布でよかったのではないのでしょうか。数日くらい後でも支障はなかったと思います。しかし、市長の権限ですと言い切る。判断は市民です。



(2) 選挙管理委員会

Q 選挙管理委員会の役割は。

A 地方自治法第181条により普通地方公共団体に設置され、公職選挙法第5条に基づき、「市町村の議会の議員又は市町村長の選挙については、市町村の選挙管理委員会が管理する。」とあり、選挙の実施主体となるものです。

選挙における具体的な事務は、立候補予定者への説明会、立候補届出の受付事務、投票事務、開票事務、選挙会事務及び選挙公営事務などになります。

Q 今回の市長選挙では、たくさんの市民の方から選挙に関する質問や意見をいただきました。市民が巻き込まれないために、市民への啓発をお願いしたい。

A 有権者の皆様へ、選挙違反のこともお伝えしていかなければならない立場です。市のホームページでご案内していますが、それでは足りないことを感じることもありましたので、例えば選挙前に「選挙のお知らせ」を活用し、選挙違反関連もご案内していければと思います。

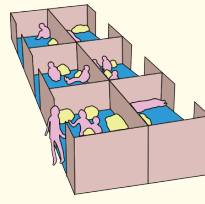
本田は思う

前回6月議会本田ようこ一般質問より、いち早く選挙公報の手続き申請による郵送が実現致しました。同時に、選挙公報設置場所も増えました。改めて、選挙管理委員会は、選挙に関する事務及びこれに関係ある事務を管理することとされ、選挙の取り締まりに関する規定は、検察官、県公安委員会委員、及び警察官が執行するものとされている。皆様のご理解で、明るい選挙へ！

— ミニ知識 —

選挙時に戸別訪問の話をよく耳にしますが、誰であっても、選挙での投票依頼などを目的に、計画的に連続して戸別家を訪ねることはできません。(戸別訪問の禁止)
また、年賀状や暑中見舞いを選挙区内の人に出すことは、答礼のための自筆のもの以外は禁止。パソコンなどで印刷したりしたものはアウト、公職選挙法違反です。

(3) 幸手市防災訓練



Q これからの課題は何か。

A 防災訓練への一般参加者が少ないこと。
また、要配慮者への対応として、手話通訳者を配置したが、参加者の多様化が予想されるため、筆談や外国語対応などについても、検討する必要があると感じます。

Q 避難訓練の受付でトリアージが必要と考えるが、市の考えは。

A 大規模地震で大量の避難者が出て、避難所が大幅に不足する場合、利用者に優先順位を付け、受入れると重々承知、必要となる可能性はあります。

■ 避難所トリアージ ■

トリアージ triage は「選別」を意味するフランス語。避難所において、被災の程度などを目安にしながら、被災者への対応の優先度を定めることです。

本田は思う

一般的に救急トリアージは知られているところです。しかし、本田のいう受付トリアージは、大量の避難者が受付をすると、避難所スペースに人が次から次へと身を置きます。

障害のある方、病気の方、体調不良の方、車イスの方、そして赤ちゃんのいる家族など、全てが同じスペースにとはいきません。受付で大まかにでも選別することで。その後の対応がしやすくなり、トラブルも減ります。初期動作としての避難所受付は大切です。

また、今回の避難訓練でひとつ。

避難するときは必ず「上履き等」をご持参ください。

避難バックなどに必ず入れておいてください。

避難所で感染などを発生さないために注意しましょう。

(4) 幸手市文化祭



Q 今年度の文化祭の状況や課題・問題点は。

A 3年ぶりに開催することができました。
展示部門では、コロナ禍で活動の自粛が続いた影響等により、解散する団体が増加するなど出展者が減少している状況です。今年度は市内小中学校の出展を増やし、幸手桜高校からも多くの作品を展示したところ です 。
発表部門でも、同様に出演者が減少し、出演者の人数制限をなくし、各団体からの参加人数を増やしたり、出演できる種目を追加しました。
課題は来場者が少ないこと、コロナ禍前の来場者には達していない状況。PR を更に実施し、来場するきっかけとして、関係者からの情報発信を充実させる必要があると考えます。

本田は思う

令和5年度幸手市文化祭は 11 月 4 日 (土)、5 日 (日) に開催された。来場するにはアスカ幸手までの交通手段が必要になります。せっかくいろいろな展示や発表が一日楽しく見ることができるのに、5 日は日曜日なので循環バスもありません。

市民まつりにはバスが運行される訳ですから、文化祭にも同じ配慮は必要です。

また、車イスで施設の方とご覧になっている姿も拝見しました。幸手市内にも高齢者や介護等の施設はたくさんあります。その入所者の方々にも見ていただけるように、あるいは発表の場があったら、市民が元気でいられる意味のある文化祭になると思います。



編集後記

12 月議会の一般質問は、他に幸手市関連の行事の議員のかかわり方、木村市長の給料 3 割カットについても質問致しました。詳しくは幸手市議会ホームページのインターネット映像配信をご覧ください。(令和 5 年第 4 回定例会 12 月 4 日一般質問の最初です。) また、幸手市議の報道がなされましたが、12 月 12 日現在、警察の捜査中でもありますことから、静かに見守っているところです。明らかになりましたら、時期を見てお伝えできればと思っています。ご了承ください。

さて、今年は選挙などで慌ただしい一年でした。そして皆様のご理解ご協力ありがとうございました。

本田ようこ